

令和元年度 公立大学法人北九州市立大学評価委員会（第1回）議事要旨

1 開催日時：令和元年7月11日（木） 10：00～

2 開催場所：北九州市役所5階 特別会議室A

3 議事内容

(1) 委員長の選出及び職務代理者の指名

(2) 令和元年度 評価委員会スケジュールについて

(3) 平成30年度業務の実績に関する報告について

ア 大学事務局から説明

イ 質疑応答

○i-Design について

(委員) i-Design について、履修後は、何らかのサーティフィケーション等を出しているのか。また、年齢構成はどうなっているのか。

(大学) 規定の単位数をとれば、学校教育法の履修証明制度を満たしている者であるので、履修証明制度に基づく証明書を出す形にしている。また、年齢構成は、アクティブシニアである50歳代が一番多い。

○外部資金について

(委員) 外部資金の獲得に尽力していることが分かるが、間接経費はどのように取り扱っているのか。

(大学) 一部は、先生方にインセンティブとして、残りは事務局で使う光熱水費や人権費等に使用している。

○enPit-everi について

(委員) enPit-everi は、今後に期待できるところではあるが、企業が、社員が就業時間中に受講できるようサポートしたり、この単位をとることで、給与に反映するまでいっている状況なのか等教えて欲しい。

(大学) 企業の方にPRをしている。平成30年度はパイロット開講ということで、無料で行っていたが、今年度は受講料をとっているため、その分少し人数が減っている状況。

○法令遵守の徹底について

(委員) 法令遵守の徹底に「Ⅱ」がついている点について、教員の備品の不正等事案について、発覚した件以外に、同じようなことがなかったかの確認をどういう形でチェックしたのか。また、備品の検収、管理体制の見直しについて具体的にどのように体制を強化して管理方法を改善したのか、もしくは、これからどのように改善していくのかを教え

て欲しい。

(大学) 不正を行った者以外については、全教職員に対して、アンケート調査などを行い、不正事案がないことを確認している。再発防止については、研修等で意識を向上させることと併せて、これまで、パソコン等の型番のチェックのみであったものを、個体識別番号まで記録し、途中で物がすりかえられないような対策をとった。また、研究補助者への謝金に対して、事務局がチェックする体制を作っている。全般的には、旅費の支給方法の適正化や、備品の管理体制を強化するなど様々な対策をしている。

○制度改革について

(委員) 6年間の中期目標期間中も制度を変更できるようにした方がよいのではなか。

(大学) 施設の建て替えなど、計画を作って市と協議しながら進めている。

(4) 評価方法について